



齊藤勝美 彩磁白鷺文茶盃 平成8年(1996) 径11.9×8.3cm 佐野市立吉澤記念美術館寄託

貫入—「半磁器」の渋さ

齊藤作品は基本的に「陶器」ではなく「磁器」によるものですが、1990年代半ばから茶碗・水指など茶陶系のものに磁土と陶土を混合した「半磁器」を用いています。半磁器は磁器のひんやりした清潔さとは異なる滋味を持ち、晩年の波山も用いています。

磁土よりも釉薬との収縮率の差が大きく、釉薬に細かなひびわれ=貫入が生じ、一層味わいを深めています。



齊藤勝美 彩磁白鷺文茶盃 平成8年(1996) 佐野市立吉澤記念美術館寄託



齊藤勝美 彩磁白鷺文茶盃 平成8年(1996) 佐野市立吉澤記念美術館寄託